



〔拡大版〕

きいちゃんダンスを覚えるぞ！ —内原保・5歳児—

7月6日(月)、内原保育所(田村真由美所長)において、5歳園児ら43人がきいちゃんダンスを練習しました。

ダンスは紀の国わかやま国体のテーマソング「明日へと」の曲に合わせて踊るもので、園児らは一つずつ振り付けやステップなどに挑戦。苦戦しながらも、一つずつ覚えていきました。練習後、サプライズできいちゃんが登場すると園児らは大喜び。みんなで一緒に記念撮影をしました。

ダンスは、8月28日(金)の母子保健・健全育成住民会議のオープニングで披露されました。



ささのはさ～らさら♪ —志賀保・七夕のつどい—

7月7日(火)、志賀保育所の全園児126人が、七夕の日の催し物を楽しみました。

七夕のつどいでは、みんなで「きらきら星」の歌に合わせてダンスをしたあと、先生らが披露する「ぱくぱく人形シアター」を鑑賞。「ささのはさ～らさら♪」と「たなばたさま」を歌って楽しいひとときを過ごしました。

日高の夏の幕開け —産湯海水浴場海開き—

7月11日(土)、産湯海水浴場の海開きが行われました。

町観光協会主催による神事が、海の家前で執り行われ、シーズン中の安全を祈願した後、テープカットなどでオープンを祝いました。



カヌー・カヤックに挑戦！ — 志賀小・臨海学校 —

7月8日(水)、志賀小学校(保田勉校長)の5年生児童ら31人が堺市立日高少年自然の家(小杭)において、1泊2日の臨海学校に臨みました。

オリエンテーションを終えた児童らは、早速着替えて海での活動を開始。同施設職員に乗り方を教わりながら、友達と一緒にカヌー・カヤックに挑戦しました。始めは少し不安げだった児童らも、一度海に出るととても楽しそうに船を操っていました。

参加した前田天勢君は「初めての体験で楽しかったです。カヤックの方が、乗る人数が少なく思ったように漕げるので好きです」と楽しそうに話していました。



どんな生き物がいるのかな — 自然観察会 —

7月31日(金)、田杭地区の磯において自然観察会「磯の生き物をしらべよう」が実施され、参加した児童らが磯の生き物とふれあいました。

会には児童と保護者合わせて41人が参加。潮が引いた磯に下り、網や手づかみで貝やナマコなど色々な生き物を採取し、観察しました。

参加した赤崎史織君は「去年参加して楽しかったので、今年も参加しました。海の生き物が好きで、またいろんな生き物を見つけたいです」と話していました。

交通安全を呼び掛け — わかやま夏の交通安全運動 —

「わかやま夏の交通安全運動」実施期間中の7月13日(月)、志賀小学校前の県道において日高町交通指導員会(北垣順一会長)が御坊警察署の協力のもと、啓発活動を実施しました。

この日は、指導員8名のほか松本町長、尾崎副町長も参加。「子どもと高齢者の交通事故防止」「自転車の安全利用の推進」「飲酒運転の根絶」などを重点項目に掲げ、通勤中のドライバーらに安全運転と事故防止を呼び掛けました。

